

# 成人式



# よっちゃんのお

2023.2月号 vol.157

(株)ISO 保険の相談パートナー

余助康弘

090-1638-5351

いつも  
ありがとう  
です。



田相丸



その年度内に成人となる人を年齢ごとに1月の第2月曜日に祝福する行事。  
2022年より20歳から18歳に引き下げる自治体もある。古くは、第2次世界大戦の敗戦後、  
虚脱の状態にあつた当時の次代を担う青年達に明るい希望を持ち力かすための始末と  
されています。これを日本政府が祝日とし、今も行われている行事とのこと。... 最近の成人式は毎年のように  
いろいろと問題が発生しております...  
ここで成人式にまつわりの素敵なお話をご紹介します。

成人式の日、それは美容室にして、大いに気合いが入る日。その年の成人式も、夜中の午前2時からお客様を迎え入れ、  
リホD飲んで気合いを入れてから身支度準備を任事しました。ようやくその日の最後のお客様となり、成人式ヘアを  
つくっていると、そのすぐ視線を感じました。その先ハチツと目をやると、その子のお母様がじ〜と見ているのです。娘さんの  
ヘアスタイルの出来をチェックしているのかな〜と、思い、「お母さん隣で見下さね。もう落ち着いたの、こちらに座っても大丈夫です。  
近くの方がよく見えますよ」と言い、娘さんの隣に座ってもらいました。しばらくすると、今度は鼻をすすり音が聞かれました。  
気を使っているから、その音の方を見ても、今度は涙をポロポロと流しているのではありませんか... なんて言葉をかけているのか分から  
なからたけれど、「本当におめでとございます。ここまで育てるのも大変な御苦労があったこともお察しします」として、娘さんに  
「OOちゃん、これからはお母さんの言うことをちゃんと聞くんだよ! としてこれからはOOちゃんか返す番だからね」と言い終わると、  
お母さんの嘔吐音がお店の中に響きました。まさか、事を言ってしまったかな?と反省しながら成人式のヘアと着付けが終わり、  
その親子はお帰りになりました。数日後、娘さんが一人でお店に帰ってきました。成人式のお祝いと、菓子折りをもて  
言話してくれました。実はお母さま、5年前に余命宣告されいて、医者に言われたのが、もってあと2年... 娘さんが15歳の時  
分るので、17歳の頃には旅立、という計算です。その時お母さんは、口々に言っていたそうです。「あなたか成人するまでは  
生きていたい! 成人式で着物姿が見れたら、他に何もいらない! それまで、何とかして生きていたい!」必死の闘病生活だったそうです。

「だから泣いていたんだよねの念願の  
着物姿が見れた」とお母さんが言いました。  
「それもそうなんですけど、もう一つ理由がありました。」  
「どうしたの?」「実は私、もうさっさと母が嫌いで、高校卒業  
後すぐに就職して引越したんです。お母さんはほんとに  
連絡も取らず、好き勝手やっていました。だから本当は  
成人式も出ないつもりでした」「じゃあ、何で成人式に出たの?」  
「20歳の誕生日に、母から手紙が来たんです。その手紙には、  
ありがとうって書かれています。2年間、私に大変な母を  
ほったらかし、ほんとに連絡も取れず、私にたいして母は、  
もうさっさとお迎えがくるかもしれないけど... だから  
最後に言っておきたい、私のもっと生きてきてくれて  
ありがとう。会えなくて私には毎日お母さんを思っていて  
幸せでした。本当にありがとう。私は自分から情けな  
なう、すぐに電話をします。成人準備しなよね!  
それまでに死んじゃうけど、泣きながら話しています」  
「お母さん素敵なね。大切にね!」と言ったお母  
さん泣いていました...  
〜人かとも思うということ〜  
涙が止まらないお話でした。  
どうでしたか...